

私は今まで選挙に対してあまり興味をもっていなかった。衆議院と参議院に所属している人たちを見ても決定的な違いなどくわしく分からないし、誰にいたらよいか全く分からないまま選挙を迎えてしまった。学校で行われる生徒会選挙の投票とは違い、多くの人の中から選ぶことは本当に難しかったし、私たちの国や地方を代表する人を選ぶとなると、名前を書くだけで緊張した。選挙が終わった今、思うことはもっと国会議員や国会のことを勉強する必要があるということだ。私は授業で政治について学んではいるけど、ただ授業を聞くだけで深く知ろうという気持ちはなかった。でも今回の選挙で、少ない知識のまま議員を選ぶことはとても難しいし、私たちの国が乱れてはいけけないので、ちゃんとした議員を選ばなければいけないからもっとニュースを見たり、インターネットを見て国会の状況や議員のこと、私たちの国が今どんな問題をかかえているのか、どんな政策が適しているのかなどしっかりと把握しなければいけないと思った。正直今回の選挙は議員について知識をあまり持たないまま、友達や家族からのうわさのような情報だけで選挙に行ったため反省しなければいけないと思った。

選挙権が二十歳から十八歳に変更になったのはきっと若い世代の意見を国に反映させるために、という背景もあると思う。選挙がなかったら私たち国民の意見は通されないまま良い国づくりはできないと思うから、貴重なことだと思う。これから日本の中心になっていく若い世代の意見をより多く反映できるチャンスこれから十八歳になる人たちにも知ってもらいたい。そして、日本を良い国にするために投票した方がよいと思う。一番いけないことはテレビの前で議員や国の政策に文句を言っているのに選挙に行かないことだと思う。だから私は日本の現状を学んで、知識を増やしてから、来年もこれからも選挙に行こうと思った。これから日本を背負う若い世代である私たちが進んで積極的に選挙に行くことが大切だと思う。